



兵庫支部 NEWS H19 10月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭 (Tel.078-792-6130)
ホームページ: <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回1,500円 (送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座 00980-2-245822
口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

新会場で三金会スタート

旧会場「フリージア」の突然の閉鎖により、三金会会場を中国雲南料理のお店「雲南茶苑」に移転して、初めての三金会が9月21日開催された。



出席者: (左から) 銭谷、山本、田代、二宮、川村、前原、松尾、名越、大村、李紫君 (店主)、松山

10数年ぶりに復帰の田代秀則氏 (48中国) の出席があり、「雲南茶苑」で初めての三金会がママ李紫君の手料理による雲南風家庭料理を堪能し、美味い紹興酒を飲みながら、賑やかに、楽しく開催された。

初めに銭谷支部長から、体力回復は万全ではないが大村副支部長の支部長代行を解任し、支部長の職責を果たす旨報告あり。また本部から河野旺生氏 (36商) の支部活動功労者表彰決定の報告あり。河野氏はH10年に支部総会、三金ゴルフに参加をきっかけに支部活動に深く関わり、H12年に幹事に就任、その後支部のホームページ管理、Eメール会の世話役、そしてH16年に、会計監査に就任し現在に至っている。10月28日 (日) に開催の本部総会の席上で表彰を受ける。

また、長期構想検討委員会による答申が山下会長宛提出され、今秋の評議会で取組むべきものとして、①支部長の役割と権限を明確にし、評議員兼任を検討、②各地域の就職活動支援の拡充、③各支部で新卒者の歓迎会開催、④ホームページの充実、⑤会報をバラエティ豊かな楽しいものに、等などが指摘されている。

(次ページに続く)

高山行雄氏 (45米英) 初優勝

第28回三金ゴルフ

第28回三金ゴルフは、9月29日 (土) 岡山との県境である佐用郡佐用町の、かの山中鹿之助の居城上月城を近くに見る、その名も三日月カントリークラブで開催された。曇り空の午前中はやや蒸し暑かったが、一時小雨も降り風も無く涼しい日であった。

今回の参加者は10名、湯郷温泉宿泊付のコンペ、しかも金、土曜日でもあり、参加者はやや少なかった。

宿泊組み6人と当日参加の4人が午前9時に集合。編集長の名越顧問も実家に帰る途中とかで立ち寄り写真を撮影。

予定より約20分遅れて、河野氏の第一打でコンペ開始。このコースは距離約6,000ヤードと普通だが、フェアウェイのアンジュレーションが激しく



2007.09.29



フラットのポジションを確保するのが難しいグリーンも一段と高い位置にあり、グリーン上も起伏で思うようにボールが転がってくれないOBゾーンは広く、ネットに救

われたり、隣のコースからも比較的打ち易く、これに助けられた人も多かっただろう。先頃北京から帰任した高山氏の中国の話、セーフコ球場でのマリナーズのイチローの野球観戦の話など聞きながら回った。

昼食後、そろそろスコアが気になる。同組の久芳氏は実力からすると余り満足していない様子、高山氏は私と同じ位でハンディを考えると、「優勝するぞ」と声を掛けると満更でもない様子。

案の定、高山氏が見事優勝。実力者の葉室氏は2位で、ベストグロスも獲得した。

(次ページに続く)

「三金会」会場が変わりました。

中国 雲南茶苑

Tel. 078-271-1168

神戸市中央区中山手通
1丁目24-4
ドラゴンズビルB1F

「三金会」

午後6時～8時
会費: 3,500円
中国雲南省の家庭料理
をご賞味下さい。

「囲碁の会」

午後3時～6時



(山手幹線北野坂、みなと銀行 地下1F)



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

9月「三金会」レポート(つづき)

事務局から、支部総会への欠席通知ハガキでコメントをお寄せ頂いた方々で、兵庫支部NEWSを購読されていない34名の方々に、総会の模様を掲載している7月号を、川村副支部長(組織活性化委員長)の挨拶文及び総会パンフの「巻頭言」とともに9月上旬に発送されたことが報告された。なお、この報告をきっかけに新たに兵庫支部NEWSの購読申込があったことも報告された。

忘年会の開催について、12月8日(土)午後1時から、カラオケスタジオ「ひばり」で開催することが確認され、会費を男性8,000円女性6,000円とすることになった。

三金ゴルフ(つづき)

ハンディ13の永翁氏は、昨日に続くゴルフの連荘で疲労困憊、実力を出すことが出来なかった様子。

河野先輩は、御歳が70を超え、しんどいご様子。今後はハンディを5つ増やし19とする事になった。3位には澤田氏が入り、ホスト役の松山氏はブービーで、今日は大波がうねった。私の成績はまあこんなものかな、多少良い方ではあった。

高原のゴルフ場で、暑くも無く、汗も余り掻かない日和で、ゴルフには丁度良い一日であった。

山田紘昭(44商)記

優勝者高山氏談話

天気とパートナーに恵まれ、楽しいゴルフが出来ました。今回失敗の多かったアイアンの精度を上げ、次回も頑張ります。幹事の松山さんに改めて感謝いたします。

第28回三金ゴルフ 平成19年9月29日(土)
於三日月カントリークラブ

参加者名	卒年学科	グロス	ハンディ	ネット	順位
高山行雄	45米英	105	32	73	優勝
葉室新人	41米英	81	4	77	準優勝
澤田英憲	44商	102	25	77	3位
長瀬正春	44商	94	16	78	4位
安徳信義	44商	94	15	79	5位
山田紘昭	44商	104	25	79	6位
久芳健二	44中国	98	16	82	7位
永翁正臣	41商	103	13	90	8位
松山仁	44商	110	20	90	9位
河野旺生	36商	108	14	94	10位

三金ゴルフ余話

三宮から乗り合わせた宿泊組4名(山田・安徳・澤田・河野)は宿泊地の湯郷温泉「美春閣」までの道程は大変だった。

夜道を山田さんの運転で一路・・・途中で道案内を地元商店で聞きながら、やっとの思いで到着したが、夜の7時15分前、先着の2名と合流して、6名で乾杯して、明日のゴルフコンペの健闘を誓った。

今回のゴルフコンペで貴重な?体験を1・2この場を借りて披露したい。

一つは、地元の方の案内で「すぐそこ」「もちよつと」は自動車ですら15分以上掛かりました。

二つ目は、当日「三日月CC」でのゴルフ場のレイアウトに二度びっくり、OBゾーンの設定はゴルフ場から外がOBで、池と谷間以外はコース以外もセーフ即ちOBがなし。

この二つから地元のルールが上手にかみ合っているようです。そして、日本の原点がここにあると感じた次第。

河野旺生(36商)記

偶感

夢ふたたび

兵庫支部会友 竹田秀壽(44米英)



昭和21年、ある農家に男子誕生。そして、その7年後に、母、33歳で病死。また、その翌年から3年間、父入院。その男の子は、10歳にして、その境遇の中から一つの将来の夢(高校の英語の教師)を抱いた。それには母の死後3年間に体験した3つの動機があった。

①母の亡骸の横で、高校教師である父が大粒の涙を答案用紙の上にボタボタと落としながら、生徒のテストの採点をしているのを見た。

②母の死後一年間、父のクラスの女生徒達が毎週末交代で家事の手伝いにきてくれた。

③ある日、学校(小学校)からの下校途中、路上に落ちていた小さな「赤い英単語集」を拾った。そして、それを片っ端から暗記して、クラス仲間に自慢してまわった。

こうして、その少年の幼少期の苦境・悲運はかえって、その少年の将来の夢の実現の力となった。そして後々、北九大入学となった。(実はその少年は私です)

昭和44年北九州大学を苦学の末卒業し、それと同時に兵庫県の教師となり、幼少からの夢が叶った。

教師として教壇に立ち、人を教え導くことは、それまでの私の劣等感を自尊心に転換するものであった。爾来、26年間教鞭をとり、さらに12年間管理職として教師の前に立った。こうして、悔いのない教職生活38年間を終え、この春、一人暮らしの老母(父の後妻)の介護の為と、自らの郷愁に誘われ、ふるさと出雲に転居した。

幼少期を過ごした古家の前に立ち、見回す辺りの風景は、当時のそれと一向に変わっていない。農業振興地(出雲平野)なので特にそうなのだろう。一面の田畑の緑と、蛙の歌、木々に響く蟬の声・・・が私の心を和ませる。

そんな感慨に浸っている間もなく、この上もなく有難い再就職口が飛び込んできた。それは「教壇に立って、英語を教える」という私の原点であり、夢の再来である。今度は、高校を卒業した予備校生と専攻科生を相手にすることになり、更なる喜びである。4月以来、一講座も休講しない健康のありがたさを、先月(9月)61歳の誕生日に祝った。我が第二の人生のスタートである。ピチピチの若い学生の前に立って、大きく息を吸い込んで、出っ張った腹部をへっこませ、赤いネクタイを締め、身も心も若返っていくような気分を楽しみながら張り切っている。

38年間住み慣れた但馬は我が子達の生まれた地でもあり、一家にとって心のふるさとである。恒例の年一回の但馬海岸でのカニカニパーティは今後も私がお世話することになっている。その会が懐かしい皆さんとの旧交を温める機会にしたいものだ。先だって同期(44年商卒)の山田君が出雲にやってきた。ふたりで出雲の神酒で身も心も清め、永遠の友情を確かめ合った。

古来、今月(10月)のことを「神無月」と言うがそれは、八百万(やおよろず)の神が全国から出雲大社に集まるからだそうだ。よって、出雲では10月を「神在月」と呼ぶ。兵庫支部の会員の皆様一人一人に幸あらん事を神々に祈りつつ・・・

とりとめのない拙文ご容赦を。

ボーイング社エバレット工場見学記

高山行雄(45米英)

去る9月15日、米国シアトル市(神戸市と姉妹都市)にあるボーイング社の工場を見てきたので、概略を報告します。

工場見学に先立ち、万博会場でよく見かけるような映像ホールに案内された。入館する時ガードマンが携帯電話、カメラ等の持込を厳重にチェック、偶々、腰に巻いていたボーチを取り上げられる見学者もいた。「ボーイング社の歴史」と「飛行機の製造工程(早送りのビデオ映像)」を視聴後、ガイド付きのバス[50人単位]で広大な工場に送り込まれた。年間10万人が訪れる見学塔で、完成直前のエンジン装着ライン横にある高さ25mの一角から工場全体を見ながら説明を受けた。生産工程に沿った見学コースと違い、細部は全くわからない。遠方の機体組立て開始のところなど震っている。

A) ボーイング社について



(上記の工場棟の右側に五ヶ所の窓のように見えているのが完成した飛行機の搬出口で、それぞれ高さ約25m、幅約100mもある。)

- ・ボーイング社は、世界最大の航空宇宙関連企業。年間売上高は548億ドル(2005年度)、従業員数は15万人(米国48州と67ヶ国)。米国最大の輸出業者で、顧客は世界140ヶ国に及ぶ。
- ・エバレット工場は、ギネスブックに登録されている世界最大の建物(500m x 1,000m、高さ27m)。約25,000人の従業員が3交代制で勤務。航空機の燃料供給区域では5機が駐機、事前飛行区域では26機が駐機できるという。
- ・B747, B767, B777を生産する為の四つのライン(二つのB777生産ライン、B747及びB767の生産ライン)。生産量は市況によるが、B747とB777が月産7機、B767が月産5機に及ぶ。
- ・B747は、約1,000機生産、そのうち10%をJALが購入した。
- ・B777は、1995年に初就航。全てコンピューターにより設計された最初のジェット機である。コンピューター上でジェット機のモックアップを組み立てることが可能になった。3百万の部品が使われており、17ヶ国の900メーカーが製造している。

B) 新型機B787について

- ・五つ目の生産ラインでB787の1号機の生産を準備中で、年末までに3機を製造し、曲げたり落としたりの試験を繰り返すそうだ。自社、米国航空宇宙局、購入者による検査を経て、量産1号機は2008年半ばに全日空へ引渡しが行われる予定。
- ・“DREAM LIFTER”と呼ばれる専用輸送機4機(ジャンボB747の改造機)で、翼は日本の名古屋から、胴体はイタリア、尾翼等は中国から運搬される。幸運なことにこの特殊な飛行機を見ることが出来た。胴体部分が大きく膨れており、尾翼部を取り外して、大きな部品の積み下ろしをするとの事

- ・機体をユニット化しており、エバレット工場では、6日で1機生産する計画である。エンジンは左右に1台ずつ装着され、直径はバスの車体と同じ。ロールスロイスとGMの二社が供給。単価が高いため、在庫せず組立て直前に納入させる看板方式。



- ・飛行中、翼の先端は上下3mも動くとの事。(翼とエンジンが一体になって、重い胴体を空中に引き揚げて飛ぶので、その過程で翼が柔軟に動く。)
- ・約半分は合成材料(炭素繊維等)で製造される超効率的な機体である。これにより通常の方法を用いる同サイズの飛行機より約18トン軽く、燃料効率が20%向上、排気ガスも20%少ない。
- ・合成材料の使用により機体の強度が増し、窓を大きくでき、機内の空気圧を低く設定できるので湿度が保ちやすく、これまでの飛行機と比べると乗客の快適さが増すそうだ。
- ・B787-8の主な仕様は以下の通り。
翼の長さ: 60m 長さ: 57m
尾翼高さ: 17m 客室幅: 5.7m
乗客数: 210~250人
航続距離: 14,800~15,700Km
巡航速度: 913Km/h (マッハ0.85)
販売価格: 157~167百万ドル(顧客の仕様による)

兵庫支部健闘及ばず大敗(7勝19敗)

第9回兵庫・関西囲碁交流会

平成19年10月6日(土)午後1時から大阪梅田の日本棋院関西総本部において第9回兵庫・関西囲碁交流会が一年ぶりに開催された。

兵庫支部から6名、関西支部から5名が参加して、熱戦が繰り広げられたが、実力者揃いの関西支部陣が19勝7敗と快勝し、対戦成績を5勝4敗とした。



第9回兵庫・関西囲碁交流会対戦成績表

	茨木	長谷部	徳丸	小葉竹	都留	兵庫支部
	7段	5段	4段	4段	3段	7勝19敗
銭谷3段	X	X	X	X	X	0勝5敗
平間3段	X	○	○		X	2勝2敗
山本2級	○	○	○	○	X	4勝1敗
名越3級	X	X	X	○		1勝3敗
前原4級	X	X		X	X	0勝4敗
安徳8級	X	X		X	X	0勝4敗

歩こう会9月例会

猪名川溪谷、屏風岩を訪ねて

9月9日(日)第73回の歩こう会例会が開催され、能勢電鉄日生中央駅に二宮、山田、名越、岡本及び山浦夫妻の6名が集合し、近所に住んでいるという二宮氏同僚の立川さんの出迎えを受けて、案内図に従って、最終目的地の屏風岩までの約9kmを歩いた。

日生中央駅の北部に広がる美山台、伏見台の団地内を北上する。案内図とは少し方向が違うが最初の目標の彫刻の道への近道と思えるが、不安になり通りすがりの地元の人に確認しながら歩を進める。程なく歩行者専用の緑道の真ん中に彫刻が据え付けられているのを発見。この彫刻の道を通り過ぎたところで伏見池公園に突き当たり、そこから団地外へ出る道を辿り、田園風景の広がる地域へと出る。舗装していない比較的広い農道を一路北上してゆくと道は段々と狭くなり、遂に完全な山道へと入っていった。しばらく上りの道が続く、峠を越えて少し下ると

車道に出た。毘沙門堂への道標があり、1.3kmとある。車道をどんどん下って平地に出ると毘沙門堂へと向う道との三叉路に着いた。

阿古谷毘沙門堂は、正面に掲げられている縁起によると1300年余りに前に百済の觀勒上人が聖徳太子の厄年災除のため三草山に開基した道場だったが、1571年兵火により焼失したため現在の地に

移されたとのこと。堂内には江戸時代後期の僧、木喰明満(モクゲキョウマン)上人により作られた木喰仏が安置されている。既に12時を過ぎしており、この辺りで昼食をと考えたが、蚊に食われそうなので移動することに。少し南下すると公衆トイレがあり近くには八坂神社がある。境内では職人さん風の数人が食事をしている。聞けば蚊は出てこないとのこと



(阿古谷毘沙門堂)

早速シートを広げて昼食とする。

午後1時過ぎ昼食を終り屏風岩目指して再びウォーキング開始。説明書によるとこの阿古谷地区では寒天づくりが盛んな所と紹介されている。道沿いに柵の様

なものが設置されているのが目に入る。



これが寒天を干す柵だろう。この辺りでは冬は天気が良く寒冷地である為寒天づくりが盛んで、今でも高級和菓子などに

使われているとの事。昼食地から約1時間歩き続けてゴールの屏風岩バス停に到着した。

バスの出発時間14:51まで約40分ある。バス停から屏風岩は垣間見えるが、少し川下の橋上からの眺めが一番と聞き、2~300mばかり歩き、屏風岩の鑑賞に出かける。

橋の袂にある説明板によると、屏風岩は北摂第一の名勝と言われ、その形が屏風を立てる姿に似ているところから名前が付いた由。岩の高さは30数米に及び989年に花山法皇も当地に遊ばれ賞されたと伝えられている。



折しも、川原に子供連れの家族が遊んでおり、我々も川原に下りてより近い場所で屏風岩を撮影したり、裸足になって川中に入り疲れた脚を休めたりと暫く川原で遊んだ後、バスにて日生中央駅へと向った。

歩こう会10月例会

一庫ダムと妙見山

開催日時: 10月14日(日)午前10時集合

集合場所: 山下駅(能勢電鉄)改札口

持参する物: 弁当、敷物、タオル、雨具、飲み物、着替え、等

コース予定: 山下駅→一庫ダム展望台→知明湖畔→知明さくら橋→一庫公園→縄手橋→黒川公民館→黒川ケーブル駅→リフト→妙見山上(徒歩区間約13km)

参考: 阪急三宮08:30(特急)十三経由山下駅09:42
08:40 → 09:51

能勢妙見山周遊バス(電車・ケーブル・リフト乗り放題)

1,500円がお徳です。

参加申込先:

二宮慶治郎氏

(歩こう会会長)

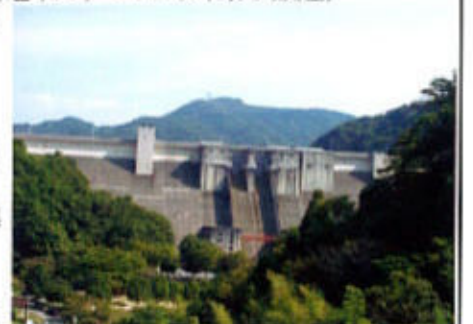
Tel. 078-851-1875

携帯: 090-5010-4954

E-mail:

ninom406@skyblue.

ocn.ne.jp



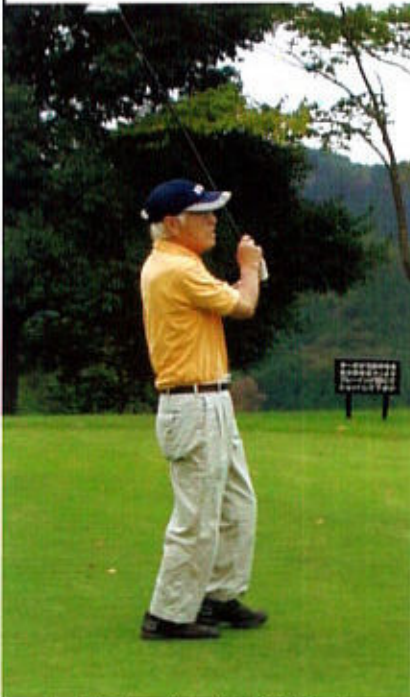
第28回三金ゴルフ写真集



スタート前のミーティング



出発を待つカート群



トップバッター河野旺生氏



唯一のサウスポー長瀬正春氏



世話役松山仁氏



久芳健二氏



高山行雄氏(優勝)



山田紘昭氏



澤田英憲氏



安徳信義氏



永翁正臣氏



葉室新人氏



第9回兵庫・関西囲碁交流会風景



関西支部陣営



兵庫支部陣営

但馬にカニが押し寄せる!!

一カニ喰い旅行への誘い

兵庫支部44年組恒例のカニカニパーティを本年度は11月24日(土)～25日(日)の一泊二日で実施することが決まった。

今年は、44年組のみならず、兵庫支部会員諸氏の参加を募ることになった。

24日(土)「津居山がに」の本場香住町のカニ料理民宿「えの本」でカニのフルコース、翌25日は名物出石そばの食べ放題と名所観光。

自家用車乗り合わせ(実費分担)または電車利用。宿泊費及び交通費その他で25,000円～30,000円

参加希望者には詳細別途打ち合わせ

申込先: 竹田秀壽(44米英) Tel. 0853-22-9422

(11月15日まで) 携帯: 090-6976-1126

山田紘昭(44商) Tel. 0797-81-0842

携帯: 090-8655-3187

多数のご参加お待ちしております。



対局終了後懇親会